

第143回教育研究会 「これからの教育／手づくり研修の技と効果」

～事例に学ぶ社員教育の極意～

2013年2月18日（火） 講師：牧野経営労務コンサルタント事務所 所長 牧野正雄氏

人を育てるには3つの方法（①職場内教育=OJT、②集合教育=OFF-JT、③自己啓発）がある。基本はOJTだが、指導者の教え方にバラツキが生じるので、OFF-JTによりサポートする。

OJTにおける注意点

1. ほめ方・注意の仕方・叱り方の3原則

①事実に基づき行う。②直ぐに行う。③相手のタイプをよく考えて日時・場所・言い方等を選ぶ。

2. タイプ別指導方法の例

①のみ込みの遅いタイプは、できるだけ焦らず具体的に判りやすく教える。②スローペースのタイプは、自分自身と比較しないで小さな変化を認める。③失敗を恐れるタイプは、ダメレッテルを貼らないでその失敗を次にどう活かすかを一緒に考える。④同じミスを繰り返すタイプは、仕事の難易度を下げるか、やり方を忘れない仕掛けを一緒に考える。⑤言行不一致のタイプは、本人に行動予定を詳しく書かせてチェックを入れる（見て見ぬふりをしない）。⑥不平不満の多いタイプ



は、不平不満の内容を書かせてみてその原因を一緒に考える、など。

OFF-JTにおける基本的な留意点

①集合教育を経営計画に組み込む、②集合教育のニーズを把握し具体的な計画する、③原則として上位層から始める、④参加型・相互啓発型のプログラムを組み立てる、⑤他部門混成で班編成し、グループ討議を仕掛ける、⑥講師の人选は慎重に行う、⑦公開講座の活用を考える、⑧計画的・継続的に実施する。